

11 ファン・ブロー

対象設備・項目	11 ファン・ブロー
規模要件等	モーター出力合計が11kW以上となる一の系統を構成するファン・ブロー
対策メニュー	11-1. ファン・ブローの運転管理 追 11-1. ファンの変風量制御方式の導入・活用
チェック項目	風量及び稼働時間が適切であるか。

対策メニューの目的

風量、稼働時間の最小化を図ることによって、電力使用量を削減することができる。

「実施済」であることの判断基準

以下の内容が両方確認できれば、実施済であると判断する。

- ・管理標準又は使用側設備の仕様を示された風量・圧力どおりの運転となっていること。

使用側設備の要求（風量・圧力）と、供給風量・圧力の関係が妥当である場合には実施済と判断する。

- ・運転の必要性が評価されており、不要な稼働を抑制する工夫がなされていること。

運転管理ルールと運転管理実態が合致している場合には実施済であると判断する。

【追 11-1】回転数制御機能が活用されていること。

回転数制御機能が活用されていることが確認できる場合に、実施済であると判断する。

確認に用いる資料等（例）

管理標準・仕様側設備の仕様書、点検記録、運転時間表又は運転記録

機器運転標準時間表 平成 26 年 10 月 1 日 ~ 26 年 11 月 15 日 月～金曜日(土日および標準時間外は、運転依頼書に基づき運転する)

凡例： 中央発停により運転 中央発停により隔週交互運転 必要な部署のみ手元スイッチにより運転

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
排気ファン																								
熱風循環ファン																								
給気ファン																								

稼働時間が管理されていることを確認

【追 11-1】変風量制御方式の制御方法又は制御実態

条件に応じた送風量が設定されていることを確認

1号製造ライン風量設定表

製品	目標製造温度 (°C)	熱風送風量 (m3/分)	インバータ設定値 (Hz)
A	200	180	34
B	220	200	38
C	250	260	50

【インバータ設定方法】

- ①ファンの起動停止スイッチが「機側」の場合は手動設定すること。
- ②ファンの起動停止スイッチが「遠隔」の場合は自動変更される。

対象設備・項目	11 ファン・ブロー
規模要件等	モーター出力合計が11kW以上となる一の系統を構成するファン・ブロー
対策メニュー	11-2. ファン・ブローの保全管理
チェック項目	フィルタの清掃を定期的に行っており、駆動ベルトのたわみが定期的に点検されているか。

対策メニューの目的

保全管理の実施によって、管路抵抗や伝達効率に起因した、必要風量あたりのロスを低減し、電力使用量を削減することができる。

「実施済」であることの判断基準

以下の内容が両方確認できれば、実施済であると判断する。

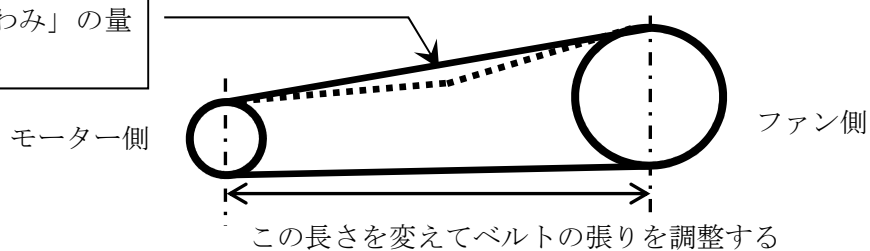
- ・点検記録によって、フィルタの清掃実績が確認できること。

点検記録等により、フィルタが定期的に清掃されていると確認できれば実施済であると判断する

- ・点検記録によって、伝達ロスの最小化に資する保全管理の実施が確認できること。

駆動ベルトの「たわみ」点検表があり、定期的に記録されていることが確認できれば実施済であると判断する。

所定の力を加え、「たわみ」の量で判定



確認に用いる資料等（例）

フィルタの清掃点検記録

ブロー・フィルタ清掃・点検簿

系統名	2号焼結炉	
点検方法	目視	破損及び目詰まり
清掃方法	真空掃除機	

年	月	日	点検	清掃	点検者	清掃者	主任印
2013	9	1	○	○	山田	明装	佐々木 (印)
	9	8	○		山田		
	9	15	○	○	山田	佐々木	(印)
	9	22	○		山田		

定期的に点検・清掃がなされていることを確認

たわみ点検記録

ファンベルト張力点検及び調整表

区分	低層階					
系統	機番	容量kW	推奨撓み荷重	測定値	判定	対応
外気	OA-1-1	1.5	5.9~7.8	6.5	○	—
	OA-1-2	2.2	7.8~9.8	8.3	○	—
	OA-1-3	2.2	7.8~9.8	8	○	—
	OA-1-4	1.5	5.9~7.8	6.5	○	—
	OA-1-5	3.7	7.8~9.8	10.5	×	張力調整

たわみ点検がなされていることを確認